2024 年 1 月 10 日
社会福祉法人法人 楽笑

子ども第 3 の居場所ロッケンハウス説明資料

愛知県内 6 拠点目、三河地方初となる 日本財団助成による「子ども第 3 の居場所」 を開所します。

社会福祉法人楽笑（蒲郡市三谷町、理事長 小田泰久）は、日本財団の助成で三谷町六舗に「子ども第三の居場所ロッケンハウス」を開所します。1 月 10 日（水）より保護者見学説明会を開始し、1 月 24 日（水）よりプレオープン。2 月 23 日（金）に子どもたちによる「ロッケンハウス開所式」を開催いたします。

核家族化や両親共働きといった子育て世帯の環境の変化、地域のつながりの希薄化に伴い、子どもが安心して過ごせる居場所がなく、孤立するケースは少なくありません。

子どもたちが孤立しやすい放課後の時間、家庭や学校以外の場である「子ども第三の居場所」で過ごすことで、信頼できる大人や友達と安心して関わりが持てる拠点を目指します。居場所が必要な子どもたちに一人でも多くサービスを利用していただきたいことから、報道機関向け内覧会を実施します。また、ロッケンハウスを利用する子どもたちによる手作りの開所式を開催しますので、ご取材くださいますようお願い申し上げます。

1）子ども第三の居場所「ロッケンハウス報道機関向け内覧会」

時　間：2024 年 1 月 15 日（月）、16 日（火）
場　所：蒲郡市三谷町六舗 10　（駐車場は八剱神社へお停めください。）
内　容：13：00～14：30　事業概要の詳細説明、拠点説明

2）子ども第三の居場所「ロッケンハウス開所式」

時　間：2024 年 2 月 23 日（金）11：00～12：15
場　所：蒲郡市三谷町六舗 10　（駐車場は八剱神社へお停めください。）
参加者：来賓（公益財団法人日本財団理事長、蒲郡市長、協賛企業代表者）、子ども第三の居場所利用児童、保護者、ボランティア
内　容：11:00～11:30　式典（来賓あいさつ、テープカット、子どもたちが設営します。）
11:30～11:45　館内案内（子どもたちが館内を案内します）
11:45～12:15　子ども食堂（ボランティアの手づくり料理を子どもたちと一緒に食事をします）

子ども第三の居場所「ロッケンハウス」とは

「ロッケンハウス」は、子ども第三の居場所コミュニティーモデルとして、地域の方が気軽に立ち寄り、子どもたちが地域の人々との交流を通じて人と関わる力や生き抜く力、探求する力、創造する力、そして自己肯定感を育むことを目的としております。毎回、おおよそ 15 名の蒲郡市内小学生を対象に、毎週、水・木・金曜日の放課後から 19 時まで開所し、学びを深める活動、子ども食堂、相談支援、フードバンクを提供します。社会福祉法人楽笑が日本財団の助成を受けて運営します。

「子ども第三の居場所」とは

「子ども第三の居場所」は、すべての子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを目的として、日本財団が中心となって2016年より全国に開設しています。「子ども第三の居場所」では、特にひとり親世帯や親の共働きによる孤立や孤食、発達の特性による学習や生活上の困難、経済的理由による機会の喪失など、各々の置かれている状況により困難に直面している子どもたちを対象に放課後の居場所を提供し、食事、学習習慣・生活習慣の定着、体験機会を提供しています。同時に、学校や地域、専門機関と連携し、「誰一人取り残されない地域子育てコミュニティ」のハブとしての機能を担っていきます。現在全国に195ヵ所設置され、今年度251拠点を予定し、全国500拠点の開設を目指しています。（2023年11月現在）
https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/child-third-place

子ども第三の居場所ロゴ

こども家庭庁の政策としての「こどもの居場所」

令和5年12月22日、「こどもの居場所づくりに関する指針」を閣議決定しました。
こども家庭庁のリーダーシップの下、こども・若者の声を聴き、こども・若者の視点に立った居場所づくりを推進していきます。

<取材に関するお問い合わせ、申し込み先>

社会福祉法人楽笑
蒲郡市三谷町六舗 10　小田由美（070-1217-2733、rocken.rakusho@gmail.com）
【全国の子ども第三の居場所事業全体に関するお問い合わせ】
日本財団　経営企画広報部子どもサポートチーム　c3p@ps.nippon-foundation.or.jp